



川崎汽船グループとして国内初となる完成車ターミナルの運営を開始

川崎汽船株式会社

2022年02月21日

川崎汽船株式会社(以下、「当社」)および株式会社ダイトコーポレーション(以下、「ダイトコーポレーション」)は、2022年4月より川崎汽船グループとして国内初となる完成車ターミナル「横浜港大黒C-4ターミナル」の運営を開始します。

本ターミナルは、日本有数の完成車取り扱い台数を誇る横浜港で、川崎汽船グループが横浜港埠頭株式会社(YPC)から借り受けて運営する完成車ターミナルです。

完成車(新車・中古車)や建設機械、ブレイクバルク貨物など、多種多様な製品の取扱い及び、完成車のトランシップ基地としての活用など多様なニーズに対応することが可能で、当社運航船以外の利用も受け入れ、横浜港全体の自動車取扱いの最適化を目指します。

また、夜間作業のための港湾用LED照明や構内業務車両のEV化を導入、再生可能なエネルギーである電気を利用するなど、環境に配慮したターミナルを目指すとともに、搬出入ゲートの自動化や高度なターミナル管理システムの導入などAIやIoTといったデジタル技術を積極的に活用し、付加価値の高いターミナルづくりを行うことで、当社グループが重要課題としている安全・環境・品質の向上に取り組んでまいります。

今後拡大が予想される環境およびDX対応を含めた顧客ニーズに柔軟かつ積極的に対応するとともに、『“K” LINE 環境ビジョン 2050』(注1)に基づき、事業活動を通じて環境保全を図りつつ、経済・社会の持続的な発展に貢献し、企業価値の向上に努めてまいります。(注1)『“K” LINE 環境ビジョン 2050』

<https://www.kline.co.jp/ja/csr/environment/management.html>

<ターミナル概要>

名 称 横浜港大黒C-4ターミナル

所 在 地 神奈川県横浜市鶴見区大黒ふ頭22番及び24番

事 業 内 容 完成車ターミナル事業

岸 壁 全 長 350m (1バース)

水 深 15m 敷地面積 約153,500 m² (バース部分含む)

蔵置可能台数 約8,000 台

<C-4ターミナル位置図>



<自動車専用船イメージ写真 : DRIVE GREEN HIGHWAY>

